

外部評価実施報告書

項目別評価	評定
教育の取組と成果 (人文社会科学部)	III
教育の取組と成果 (社会文化システム研究科・ 社会文化創造研究科 (社会文化システムコース))	III
研究の取組と成果	III
社会貢献の取組と成果	III

評定は以下の4段階から選択願います。

IV 非常に優れている。

III 優れている。

II 相応である。

I 不十分である。

令和 6 年 12 月 17 日

氏名 : 朝 賀 俊 彦 (自署)

【優れている点】

・学部・研究科ともに、3つのポリシーについて、組織全体の縦と横の関係をふまえた形で、各コースなどに共通する特徴と異なる特徴が明示されており、多様な専門領域により構成されている教育組織の全体像が体系的かつ統一的に整理されている。

・入学者選抜について、学部では各コースのアドミッション・ポリシーをふまえた多様な選抜方法が用意されており、入学定員、入学後の学習状況などからは、入学生の選抜が適切に実施されていると言える。研究科についても、コースの特徴に応じて多様な選抜方法が用意されており、各選抜方法による実施実績と定員の充足状況から実効性のある選抜が実施されていると考えられる。

・学生の学習環境については、講義室、演習室、自習スペース、学習管理システム、Wi-Fi 環境などの施設が整備された上で、授業展開において有効に活用されている。また、コースでの特徴的な学びをふまえて、経済面でも海外研修の学修支援が行われている。

・研究科では教育目標に沿った分野連携に基づくカリキュラム編成・指導体制が整えられている。

・教育の質保証について、教員側からは「カリキュラム・チェックリスト」の作成によりカリキュラム・ポリシーと授業科目との整合性について確認を行い、学生側からは科目ごとの通常の成績評価に加えて「基盤力テスト」と「学生による授業アンケート」により各学習段階での学習成果や学習状況について自己点検や評価を行うことが可能であり、教員と学生のそれぞれの立場から、双方向で質保証のための検証を行うシステムが構築されている。

・研究活動に関しては、外部資金獲得に向けて勉強会や申請書チェックなど学部独自の取り組みが行われており、研究の公表、科研費獲得、受託・共同研究受入などの実績から、その成果をうかがうことができる。

・地域貢献・社会貢献は、教員の専門性を生かして、時宜を得たテーマによる講演を実施したり、国際学術講演

会・国際会議を開催したりするなど、特徴的な活動が行われている。さらに、コーディネータ教員を配置するなど運営面でも工夫がみられる。

【改善を要する点】

- ・ディプロマ・ポリシーの記述に一部コースの説明として十分ではない箇所がみられる点は改善が必要である。

【助言、提言等】

- ・研究科の評価について、社会文化創造研究科社会文化システムコースとしての評価は今回の形で適切に行われていると考えるが、研究科という組織全体の評価という観点からは、他コースについても何らかの形で一定の説明を含むより包括的な報告がまとめられることが、対外的には望ましいのではないかと。

- ・近年、学部では留年率、休学率、退学率に微増の傾向が、研究科では修了率、就職率に微減の傾向が見られる。この点は今後の推移を見極める必要があるが、全国的な傾向や研究科改組後の個別的な状況などをふまえた上で、必要に応じて学生に対するケアが求められる可能性がある。この点に関連して、アドバイザー制度は現状で概ね適切に機能していると思われるが、サポート体制強化の一環として、学内外の関係組織などとの連携による個別的な指導・助言等に関して一層の充実を図る余地があるのではないかと。

評価観点

適合されているかを
○△×ご記入ください。

1. 教育

1 学位授与の方針（DP）が具体的かつ明確に定められているか。	△
2 教育課程の編成・実施の方針（CP）が学位授与の方針（DP）と整合しているか。	○
3 入学者の受入方針（AP）において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示しているか。	○
4 入学者の受入方針（AP）に則して、適切な学生の受入が行われているか。	○
5 実入学人数が入学定員に対して適正な数となっているか。	○
6 教育プログラムを構成する各授業科目の内容は、学位授与の方針（DP）及び教育課程の編成・実施の方針（CP）に則して、体系的かつ相応しい水準にあるか。	○
7 学位授与の方針（DP）及び教育課程の編成・実施の方針（CP）に則して、適切な授業形態、学習指導方法が採用されているか。	○
8 教育課程の編成・実施の方針（CP）に則して、公正かつ厳格な成績評価が行われているか。	○
9 教育プログラムに対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されているか。	○
10 学位授与の方針（DP）に則して、適切な履修指導、支援が行われているか。	○
11 生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われているか。	○
12 学位授与の方針（DP）に則して、公正な卒業（修了）判定が行われているか。	○
13 学位授与の方針（DP）に則して、適切な学習成果が得られているか。	○

2. 研究

1 研究活動の実施状況（例えば、研究出版物、研究発表、特許、その他の成果物の公表状況、国内外の大学・研究機関との共同研究、地域との連携状況、競争的研究資金への応募状況等）から見て、研究活動が活発に行われているか。	○
2 研究活動の質の向上のために研究活動の状況を検証し、問題点等を改善するためのシステムが適切に整備され、機能しているか。	○

3. 地域・社会貢献

1 教育及び研究を通して、地域や社会の発展に資するような活動が行われているか。	○
---	---